

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	943	消防団本部管理経費	会計	01	一般会計
基本施策	99		款	09	消防費
			項	01	消防費
			目	02	非常備消防費
担当部課名		消防救急課	細目	101	消防団本部管理経費
作成者氏名	豆本 弘文	24-9102	細々目	01	消防団本部管理経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
消防団員		地域住民を火災や災害から守るため、消防団員が災害現場で有効な活動ができるように、知識及び技術の向上を図るとともに、消防団組織の充実強化に取組み、被害の軽減を図る。
本年度事業内容	消防団員を確保し、研修及び訓練の実施により消防団員の知識と技能の向上を図り、災害対応能力を向上させる。 教養訓練の実施(初任者訓練・指導者訓練・幹部訓練・夏期訓練・操法訓練・救命講習) 県消防学校への派遣(指導員科・幹部科) 「火の用心」チラシの配布(40,000部)	
根拠法令・要綱等	消防組織法	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	2	2	2
人件費合計(A)	14,400	14,400	14,400
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	172,925	152,226	152,226
報酬	78,455	56,614	56,614
報償費	24,577	25,336	25,336
負担金、補助	31,623	30,910	30,910
その他	38,270	39,366	39,366
合計(A+B)	187,325	166,626	166,626
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	10,778	10,322	10,322
地方債			
受益者負担			
その他特財	26,957	25,500	25,500
一般財源	149,590	130,804	130,804
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
消防団員の確保 団員数÷条例定員×100	%	100	100	100	100	100	100

情勢の変化及び事業の改善点等

市町村合併により、6つの消防団が合併・一体化を図った。  
 将来的に少子高齢化、就業人口のサラリーマン化により、消防団員の確保が困難となることが考えられることから、住民に対する消防団活動の啓発を勧めていくとともに、女性消防団等の機能別分団の創設により大規模災害時の対応能力を向上させる。

評価	達成度	4	出初式、初任者訓練、夏期訓練を全団で集約して実施し、一体化を図っている。 消防団は「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき、地域防災の要として重要な任務を担っており、災害時の初動体制を確保することにより被害の軽減を図ることを目的に、今後も、地域住民への啓発活動、団員の教育訓練、組織の強化が必用である。
	効率性	4	